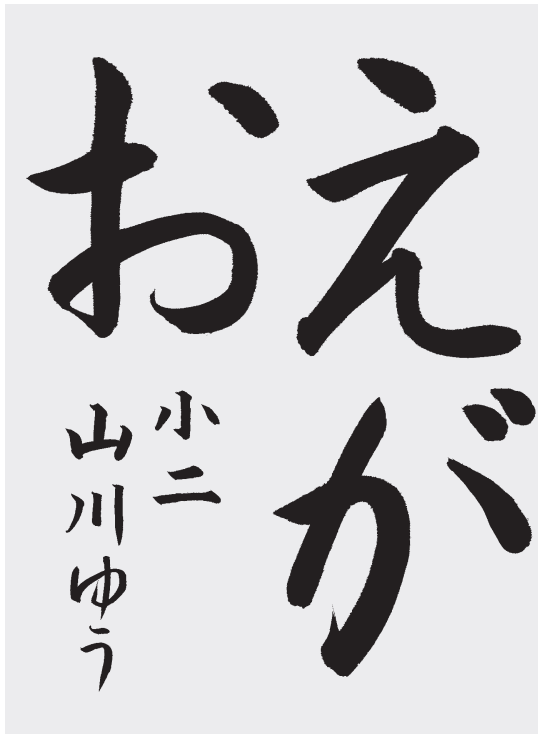


〔11月 5 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学 2 年 参 考 手 本



広 瀬 舟 雲 先 生

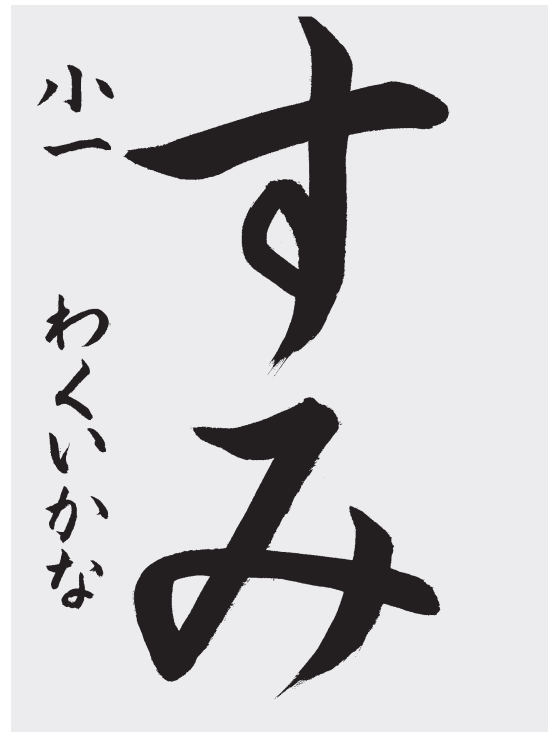


田 村 鄭 雲 先 生

幼・小学 1 年 参 考 手 本



川 島 舟 錦 先 生



菊 池 富美子 先 生

〔11月 5 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年 参 考 手 本



西 川 翠 嵐 先生

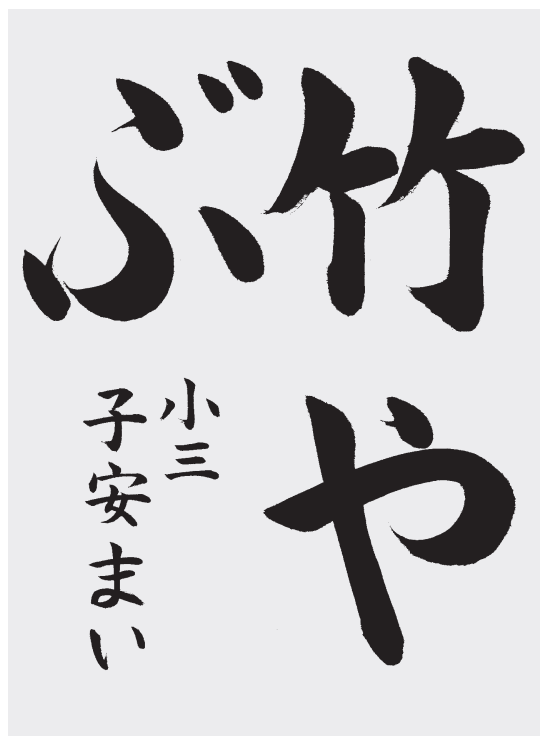


川 村 美 泉 先生

小学 3 年 参 考 手 本



半 田 藤 扇 先生



大 平 邑 峰 先生

〔11月 5 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年 参 考 手 本



佐 藤 菜 扇 先 生



小 竹 石 雲 先 生

小学 5 年 参 考 手 本



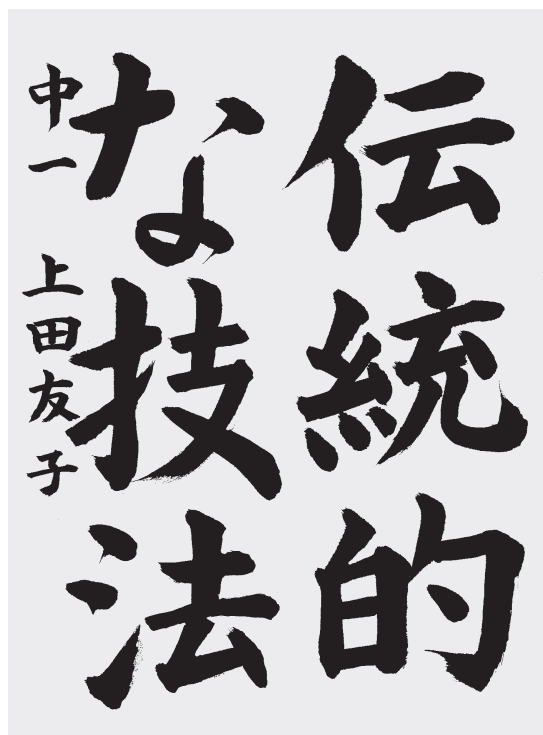
名 越 蒼 竹 先 生



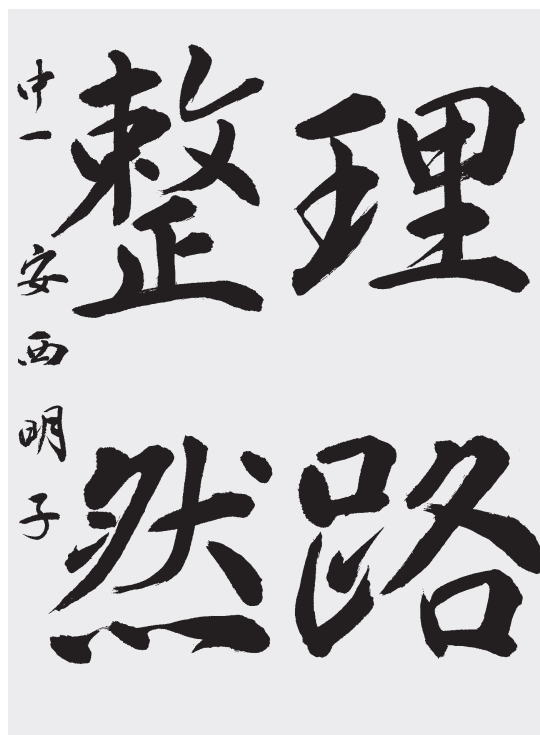
大 内 熒 軒 先 生

〔11月 5 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

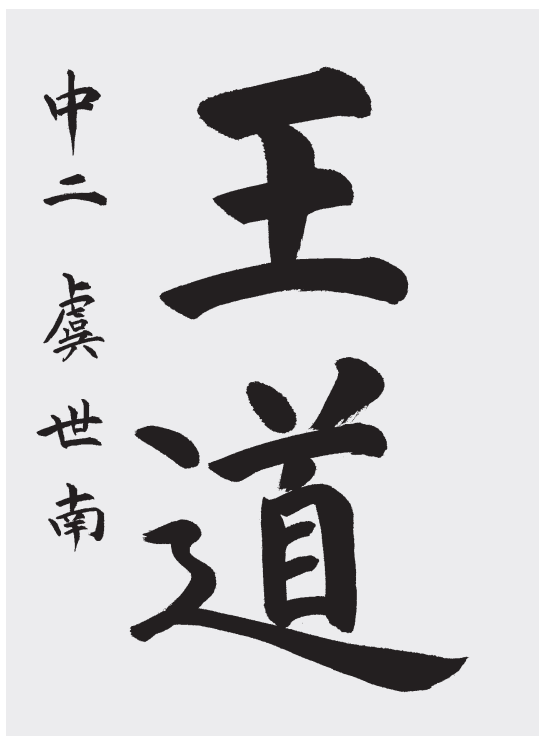
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



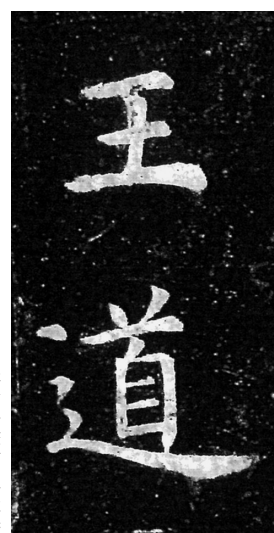
千葉蒼玄先生



辻元大雲先生



種谷萬城先生



王道（集字・拡大）

孔子廟堂碑
（中国・唐時代）
虞世南

発展〔中学生〕

・有名な古典の名跡に挑戦してみよう

※この課題は楷書で書くこと。

○長い歴史の中で現代に伝わる中国や日本の優れた書のことを「古典の書」といい、古典の書を手本として書を学ぶことを「臨書」といいます。虞世南が書いた孔子廟堂碑は、中国・唐時代の楷書の最高傑作の一つです。縦長の整った字形でおだやかな温かみのある線質でゆったりとした運筆が特徴です。

毛筆参考手本解説(1)

1年

は
波波波は
は(ヨ)は(明)
は(教)

す
はらう
すみ
はらう

すみ(ヨ)すみ明)すみ(教)

2年

え
えがお(ヨ)えがお(明)
えがお(教)

ダ
はらう
ム
多
タ
ム

ダム(ヨ)ダム(明)ダム(教)

3年

気
等間かく
メは中心より左に

気(ヨ)気(明)気(教)

竹
竹や
竹やぶ(ヨ)竹やぶ(明)

竹やぶ(教)

4年

月光
等間かく
月
はなす

月光(ヨ)月光(明)月光(教)

大切
筆順
一ナ大
一七切切
大切(ヨ)大切(明)大切(教)

筆の里

筆の里(ヨ)筆の里(明)筆の里(教)

5年

野原
筆順
日甲里野野
はなす

野原(ヨ)野原(明)野原(教)

筆の里
筆の里(ヨ)筆の里(明)筆の里(教)

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましよう。
ゴシック体(ヨ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

〔11月 5 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小 学 2 年

幼・小 学 1 年

硬 筆 参 考 手 本

活字と手書き文字の違いに気をつけて書きましよう。ゴシック体(ゴ)・明朝体(明)・教科書体(教)・HGP行書体(H)

支 部 名				
段 ・ 級				
学 年	二			
名 前	木下六花			
	本	を	作	り
	ま	し	よ	う
	。			
	お	話	を	よ
	ん	で	、	
	絵			

支 部 名				
だん・きゅう				
がくねん				
な ま え	一			
	小	山	し	ゅん
	は	し	っ	
	て	い	ま	す
	。			
	じ	ど	う	車
	が			、

「へん」と「つくり」の組み立てにちゅういして字形を正しく書きましよう。

作 (ゴ) 作 (明) 作 (教)

絵 (ゴ) 絵 (明) 絵 (教)

話 (ゴ) 話 (明) 話 (教)

車 (ゴ) 車 (明) 車 (教)

じ (ゴ) じ (明) じ (教)

「車」をただしくかきましよう。

てんのいちにちゅうい
のびやかにはらう

じ (ゴ) じ (明) じ (教)

車 (ゴ) 車 (明) 車 (教)

〔11月 5 日締切課題〕

作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 4 年

小学 3 年

支 部 名		な	絵
		が	・
段 ・ 級		ら	写
			真
学 年		パ	な
四		ン	と
名 前		ダ	を
浅	発	の	見
岡	表	研	せ
梨	を	究	
花	し		
	ま		
	し		
	た		
	。		

支 部 名
段 ・ 級
学 年
三
名 前
一色美晴

を流れていきます。

白い雲が、青い空

それぞれの「はらい」の方向と長さに注意

表（主） 表（数）

筆順 一 十 主 表

短くならないように

究
まがり 〔筆順〕 究(三) 究(明)
まげすぎない 六六 究 究(教)

中心

写

二 写 写

一画で書く

写(三)

写明

写教

「はね」や「はらい」の方向に気をつけて漢字を書きましょう。

流

ちゅうしん
中心



漢字を正しく書きましょう。
横画を長く

流(ヨ) 流(明) 流(教)
 〈ひつじゅん〉
 汨汨 汨汨 汨汨 汨汨

青(コ) 青(明) 青(教)
 〈ひつじゅん〉
 一十主 青青青
 はなす
 許容きようよう
 月はらの私い

雲(三)雲(明)雲(教)
¹干³₄雨雲雲雲雲
 〈ひつじゅん〉

〔11月 5 日締切課題〕

作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

小学 6 年

支 部 名		と	よ	
		改	う	利
段 ・ 級		造	に	用
		を	学	す
学 年		加	級	る
六		え	文	人
名 前		た	庫	が
		。	に	増
			工	え
			夫	る

小学 5 年

支 部 名									
段 ・ 級									
学 年									
五									
名 前									
出川美心									

造

〔筆順〕
ノ 丿 告 造 造
造(3) 造(明) 造(教)

改(三) 改(明) 改(教)
丸みをもたせながら方向を変える
〈筆順〉
ㄅ ㄆ ㄇ 改 改

増(三) 増(明) 増(教)
田をへん平に
土(つちへん)小さく
横分間をそろえて

右払いをしっ
かり書きましょ
う。

同じ間隔で

〔筆順〕
田 田 尹 更 界 界
界(三) 界(明) 界(教)

一十廿廿世



てが出る
《筆順》
ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ
ㄣ(コ) ㄣ(明)
ㄣ(教)

組み立て方に注意して、字形を整えましょう。

〔11月 5 日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏名」を本人が書く。

中 学 生 (行 書)

中 学 生 (楷 書)

支 部 名	
段 ・ 級	
学 年	中二
名 前	野中明里

日本古来の楽器に尺八がある。
竹林の中を過ぎていく風の音を
表現できたら名人といえよう。

支 部 名	
段 ・ 級	
学 年	中二
名 前	野中明里

日本古来の楽器に尺八がある。
竹林の中を過ぎていく風の音を
表現できたら名人といえよう。

・行書のワンポイントアドバイス
楷書に比べて、のびやかに流れを
意識した筆使いで書く。

(楷) 中
↓ (行)
中

(楷) 表
↓ (行)
表

風
方向の変化

中心 風
そる
虫は几から下に出ないように。
筆順 八 凡 風 風 風

中心 過
内側に
むける 尚は中心より右側に
筆順 口 田 田 田 尚 過 過 過 過
あける、ろへ
① ② ③
のリズムで

「かな」は漢字よりも少し小さめに書きま
しょう。

竹林の中を過ぎていく風

これからの作品締切日と課題

令和8年12月号～9年3月号までの作品締切日と毛筆課題

12月号の硬筆課題

※硬筆課題は、翌月課題のみ掲載しております。

中学生 (全学年共通)		小6	小5	小4	小3	小2	幼・小1	締切	
無形文化遺産	(集字聖教序・集字) 未来	観察力	星ふる夜	方向	広がり	つばさ	き	12月3日	12月号
見聞を広める		楽しい声	登録	生きる力	夕やけ	かもめ	ふゆ		
心機一転	(集字聖教序・集字) 出典	固い決意	百人一首	冬こもり	羊	おせち	ね	1月7日	1月号
炭を継ぐ		海岸線	理想	新春	はつゆめ	ひつじ	もち		
千変万化	(九成宮醴泉銘・集字) 心得	お手伝い	文庫	図工	よろこび	ゆびわ	む	2月7日	2月号
美しい梅林		世界旅行	波の音	点画	外国	ポスト	やま		
晴耕雨読	(九成宮醴泉銘・集字) 不動	希望の春	約束	発表	花だん	きずな	せ	3月8日	3月号
つわかな		平和運動	集中力	さくら貝	千歩	ビデオ	うえ		

小 5

で	イ	
活	ブ	も
気	。	う
に	商	す
満	店	ぐ
ち	街	ク
て	は	リ
い	セ	ス
る	ー	マ
。	ル	ス

幼・小1

わ	
を	手
つ	を
く	つ
ろ	ない
う	い
。	で

小 2

を	
イ	か
ラ	ん
ス	字
ト	の
で	な
学	り
ぶ	<u>立</u>
。	ち

小 6

よ	れ	
う	ゝ	海
に	あ	は
暗	た	深
く	り	い
な	は	き
っ	夕	り
た	暮	に
。	れ	包
	の	ま

小 3

家	森
ま	の
で	小
走	道
り	を
ま	通
し	っ
た	て
。	

小 4

新	を	
聞	記	今
「	事	ま
を	に	で
作	書	体
り	き	験
ま	、	し
し	「	た
た	自	こ
。	分	と

中学生

持続可能な未来のためにSDGsを理解し、さまざまな社会課題に関心を持ちたい。



書写を知り 学び楽しむ

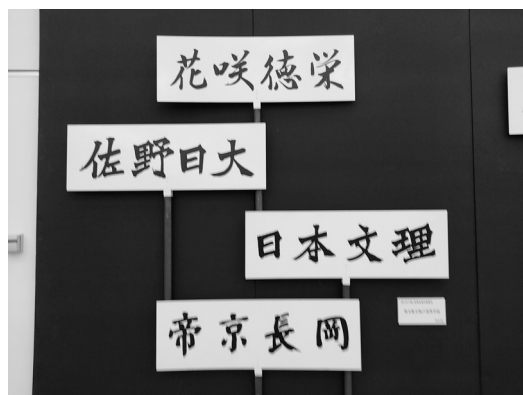


広瀬舟雲先生

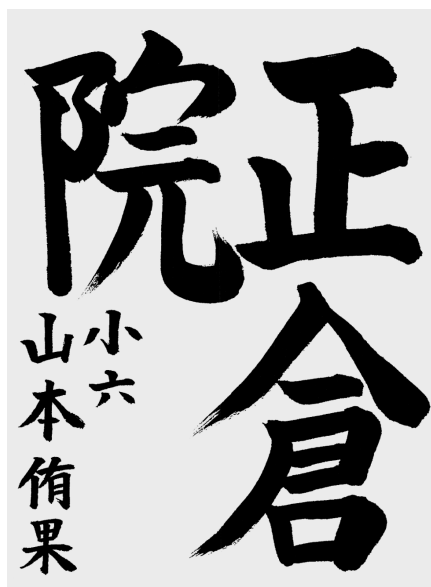
講師の広瀬舟雲先生は、武蔵野大学教育学部教育学科・教授、全国大学書写書道教育学会副理事長、(公財)書道芸術院理事です。著書に「刻された書と石の記憶」、共著に「国語科書写の理論と実践」などがあります。

第116回 春のセンバツ甲子園の入場行進プラカード

春の選抜高校野球大会（「春のセンバツ甲子園」）開会式の入場行進で用いられる学校名を記したプラカードは、「書の甲子園」という国際高校生選抜書展で、団体の部で地区優勝した10の高校の書道部員たちが毎年、分担して揮毫している。これは、第80回大会から始まったという。甲子園球場に、出場できた高校球児たちと同じ年齢の、書道部員たちの書いた力作が甲子園に並ぶ。最高の応援だと思う。選ばれた高校書道部員たちもとても光栄なことという。この「第98回春のセンバツ甲子園」で使用されたプラカードが、今年、東京の国立新美術館で開催された第77回毎日書道展の会場に、第34回書の甲子園全入賞作とともに企画展示され、テレビや写真でしかみることができなかった実物が拝見できて大好評であった。力強い中国の北魏の書風からおだやかな東晋や唐時代の楷書・行書、顔真卿の楷書の書風、また、年によって横広な隸書などもあり、古典の書を一生懸命勉強した高校生たちがこれらを応用し、渾身の力を込めて書いた書は生き生きとし、会場に光彩を放っていた。



今月のホープ



小六 山本侑果 (東葉)

まず作品が豊かに大きく見えました。ゆったりとした大らかさと明るさ、これは線はもちろん字画の白の美しさからきています。



小五 大胡美翔 (惠泉会)

確かな運筆による安定した美しい字形の作品です。筆の弾力を充分に使った転折や払いがすばらしいです。

支部名	
段・級	
学年	中二
氏名	林恒希

環境問題について友達と意見交換し、「私たちは何をすべきか」を考えた。

中二 林 恒希 (桐の会)

一点一画丁寧で力強く字形も正確で安定しています。漢字とかなのバランスもすばらしく見事な作品です。

支部名	
段・級	
学年	二
名前	多胡あんじ

きたら楽しいね。雲の上をさんぽて。

小二 多胡安時 (みやび)

字形よく、漢字かなのバランス佳。おだやかでやさしさある作品です。円味帯びた線と名前も見事です。

令和

年

月

日

◇ 登 録 用 紙 ◇

団体番号		支 部 名		先 生 名	
------	--	-------	--	-------	--

※氏名を楷書で記入してください。

※毎月 **1 5** 日までに登録された方は次月から出品可能です。

※退会の処理は年2回の昇級試験時に手続きをお願いいたします。

※3月に登録される時は、備考欄に新学年を記入してください。

※現在の学年を明記してください。



氏 名	ふ り が な	学 年			備 考
		幼	小	中	

◇ 部 数 変 更 届 ◇

現 在		増 減	合 計
冊	月号から		冊
事務局使用欄			

※部数減の変更は、毎月 1 5 日までに

部数増の変更は、いつでも事務局へご連絡下さい。

FAX番号 (03) 3862-1957

※この用紙をコピーして繰り返しお使い下さい。

幼・1年

き
すずきけん

ふゆ
小一 ながたかほ

2年

さつば
小二 山口りん

めかも
小二 田中えみ

3年

り広が
小三 田中みわ

けタや
小三 山下由美

4年

方向
小四 山川幸子

る生き
小四 谷口学

5年

る星ふ
小五 市川美子

登録
小五 土井京子

6年

観察
小六 木本京子

い楽し
小六 上草直子

中学

未来
中三 佐藤恵

無形文
化遺産
中二 山口広

見聞を
広める
中二 中井花子

編集余録

○今月も中学生の課題は、唐・虞世南（558～638）の書「孔子廟堂碑」です。

石碑や金属器などに刻された文字や模様を、墨を使って紙に写し取ったものを「拓本（たくほん）」といいます。凹んでいる部分は白く、出っ張っている部分は墨の影響で黒く浮かび上がります。※3ページの参考手本の脇にある「王道」は拓本です。

現在は、コピー機やカメラで物の形や模様を写すことができますが、昔は拓本を使って記録していました。臨書をする際、手本となる古典に拓本を使うことが多く、特に古代中国に書かれた書の大半は石碑であるため、手本も必然的に拓本となります。拓本をよく観察し、特徴を捉えて臨書してみてください。

（悠輝）